

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

議会はどんなところ？



第153号

発行/新発田市議会
編集/広報広聴委員会



東小学校6年生が本会議を傍聴しました。



インターンシップ実習生で新発田商業高校2年生の3人がヨミネスしばたの編集作業に参加してくださいました。



みなさんの声、お聞かせください

議員定数及び議員報酬に関する

アンケートご協力をお願い



アンケートは18・19ページに掲載されています

議会はどんなトコロ？

議会をもっと知ってもらうため、前号から市議会のさまざまな情報を特集しています。前号の「議会はどんなことをしているの？」に続き、今回は、議会フロアをご紹介します。また、インターンシップ実習生で新発田商業高校2年生の相場桃寧さん、高橋万桜さん、轟アmenaさんの3人が、ヨミネスしばたの編集作業に参加してくださいました。3人の感想も交えながら、ヨミネスしばたのキャラクター「あやめちゃん」とともにご紹介します。表紙と特集ページには3人が撮影した写真も掲載しています。



議場

執行部席

市長をはじめとする市の課長等が左右に座ります

演壇

発言者は登壇して発言します

議員席

議員が議席番号順に座ります

事務局

事務局長

議長

教育長

市長

副市長

傍聴席

本会議の様子を見ることができます。定員は50席で、バリアフリーにも対応しています。

重厚感があり荘厳な雰囲気！
けど、生徒会総会に少し似ている…。
議員の皆さんはタブレット等で資料を見ていて、デジタル化が進んでいる！（意外！）

イベント等に対応できる 可動式の議場

傍聴席下の空間に議場の机や椅子を収納することで、多目的に使用できる会場に変わります。

一般質問・会派代表質問が行われ、議員はそこで再質問を行います。

質問席



令和2年度から、議員の議案等資料は、原則、データ配信とし、ペーパーレス化に取り組んでいます。





議員定数と議員報酬に関する市民アンケートは18・19ページに掲載しています！

委員会室

各委員会などの会議で使用します。議会報告会やWeb議会報告会もこの委員会室で行うほか、議員定数及び議員報酬に関する特別委員会も開催されます。なお、可動壁で3つの部屋に仕切ることができます。



議員図書室

議員の調査研究のための書籍や資料が設置されています。



議長室



議員応接室

お客様や視察等の対応、議員の打ち合わせなどに使用します。



副議長室



インターンシップ 実習生 レポート



ラウンジ



議会事務局



新発田商業高校2年生の3人が就業体験で、ヨミネスしばたの編集作業に参加してくださいました。撮影した議員写真は、今後のヨミネスしばたにも掲載します。

初めて議場に触れ、とても緊張しましたが、楽しく活動できました。

常任委員会での質疑応答は、本会議とは違う緊迫感があり、貴重な経験でした。

本会議の雰囲気が生徒会総会に似ていたり、委員会室や図書室があるところなど、学校との共通点もあり、親近感を覚えました。



8月臨時会

ふるさとしばた応援寄附金の増加に向けた業務の効率化等を図るため、関連する予算を組み替えました

●ふるさとしばた応援寄附推進事業

<総務常任委員会での質疑>

Q ふるさと納税に係る当初予算時の制度設計の段階において問題があったのか。

A 目標の達成に向け、広く提案を受けるためプロポーザル方式により問題なく事業者を選定した。選定事業者から今後の事業効果が期待できる提案を受けて組み替え補正をするに至った。

財産の取得について(トレーラー式移動トイレ)

<総務常任委員会での質疑>

Q 8月臨時会で審議を行う理由は。

A 年度内にできる限り早急に納入するため臨時会での提案となった。

Q 災害時以外の活用予定は。

A 市総合防災訓練やイベント等においても展示、活用し市民にもアピールしたい。



写真はイメージです



主な議案等に対する賛否の一覧 詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。

8月臨時会

9月定例会

8月臨時会	議第19号	契約の締結について(塚の目排水区地下調整池整備(土木)工事)	全員賛成
9月定例会	議第24号	新発田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	賛成多数
	議第28号	新発田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例及び新発田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	全員賛成
	議第33号	令和6年度新発田市一般会計補正予算(第4号)議定について	全員賛成
	議第39号	決算の認定について(令和5年度新発田市一般会計歳入歳出決算)	賛成多数
	議会第3号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書(国会及び関係行政庁あて)	全員賛成
	議会第4号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書(新潟県知事あて)	全員賛成

主なものをご報告します。

9月定例会

新発田藩を舞台とした映画「十一人の賊軍」の公開に合わせプロモーション活動を行います

●フィルムコミッション推進事業

<経済建設常任委員会での質疑>

- Q 映画完成前に観光PRのアプローチができなかったのか。
A 撮影の話があった段階でPRしたかったが、メディア戦略があり機密事項でお知らせできない。
Q 市のプロモーション活動の主な内容は。
A 映画の舞台となった当市のPR動画を作成し、映画館のスクリーンで上映されるCMに広告活用するほか、ポスターやオリジナルうちわを増刷するなどして映画と当市のPRを行う。



地域おこし協力隊の新たな取組として、企業等雇用型の活用を始めます

●地域おこし協力隊設置事業

集落の機能維持・活性化や公共交通の運転手不足対策を目的として増員する経費を補正します。

<総務常任委員会での質疑>

- Q 隊員をハイヤータクシー協会に配置することだが、本来の制度の趣旨から逸れ、雇用対策になっているのではないか。
A 地域課題となっている公共交通の利用促進など地域運転手不足対策と合わせ活動も行うため、雇用対策ではない。

水路や調整池等の清掃で多量に発生した汚泥を処分します

●河川維持管理事業

令和6年7月の大雨等により実施した清掃で発生した汚泥の処分に要する経費を補正します。

<経済建設常任委員会での質疑>

- Q 大雨のたびに市内各所で冠水するが今後の対策は。
A 排水機場の稼働などで対応しているが、1時間に40ミリを超えるゲリラ豪雨には冠水してしまう。側溝等の堆積土砂を調査し排水断面が確保されるよう清掃を行う。

松岡地域ふれあいルームを設置します

<社会文教常任委員会>

高齢者の生きがいがつくりと交流の場となる地域ふれあいルーム事業を松岡公会堂で新たに実施します。



地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に定める少額随意契約の限度額の見直しを求める請願書を採択しました

<請願の概要>

地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定により、予定価格が同施行令別表第5で定める額の範囲内において地方公共団体の規定で定める額を超えない場合は、随意契約によることが可能とされている。

しかし、同別表に定める額は実体経済とかけ離れていることから同法の見直しを求めるものとする。

下記事項について意見書を提出されるとともに請願内容実現のため働きかけをお願いします。

地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に定める少額随意契約の限度額の見直しを強く求める。

「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書を採択しました

<請願の概要>

最低賃金法を改正することで、誰でも人間らしい暮らしができ、人口減少にも歯止めをかけるベースをつくることできる。

については、下記事項について意見書を提出されるようお願いする。

- 1 政府は、最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。
- 2 政府は、地域別最低賃金1,500円以上をめざすこと。
- 3 政府は、最低賃金の引き上げにあたっては、中小企業に対する支援の抜本的な強化をはかること。

令和5年度 一般会計歳入歳出

歳入 499億1,014万円(対前年度比17億1,212万円／3.3%減)

歳出 484億9,639万円(対前年度比8億5,241万円／1.7%減)

歳入では、小雪に伴って特別交付税及び臨時道路除雪事業費国庫補助金が減少したことなどから、全体では3.3%減となりました。

決算審査は、**事前に議論を重ねた内容**を重点的に行いました。

重点項目を
事前に協議

総務関係

- 定住化促進事業及び地域おこし協力隊
- 防災対策

社会文教関係

- 就学前の子育て支援
- 就学後の子育て支援

経済建設関係

- 空き家対策
- 観光対策

議員から選抜
された委員が
決算審査特別
委員会で議論

一般会計決算審査

特別委員会

委員長	若月	学
副委員長	宮野	清隆
	小川	徹
	湯浅	佐太郎
	高橋	茂
	小柳	はじめ
	広岡	けんじろう
	宮村	幸男
	長島	徹子
	石山	洋子

議員間で意見を交わした「自由討議」の内容

定住化促進事業及び地域おこし協力隊

今後、定住化促進事業をどう進めていくか。

- 近隣市町村と一体となり人を呼び込む取組を行政はがんばっていると思う。地道に続けることが大事。
- 市の中心部と周辺部の人口流出の傾向を調査し対策を考える必要がある。
- 中山間地の人口増のため集中した対策も必要ではないか。
- 地域おこし協力隊は、人を呼び込む力がある。市の良さを情報発信してくれると期待している。
- 首都圏には、郷土愛があり、自分のスキルを地元に戻元したいと考えている方も多い。シビックプライドの再燃に繋げるイベントがあると良い。

防災対策

災害対策本部や自治会など組織の連携強化を図るにはどうしたらよいか。

- 地域では自主防災組織と避難所運営委員会と2つの組織があり、自治会長が会長を務めるケースが多いが、交代に伴い形骸化してしまう。シンプルな組織運営が必要だ。
- 地域の避難訓練も形骸化してしまう。議員も自治会長と話し合い、連携を深めていかなければならない。

就学前の子育て支援

母子保健と児童福祉が一緒になったが、情報が届いていない。制度の周知をどう考えるか。

- 市だけでなく、県など広くアピールが必要である。

就学後の子育て支援

市教育支援センター車野校の使用していない教室を利用して、送迎の保護者などが集まり情報共有できるスペースとしてはいかがか。

- 広い校舎なので、親子や保護者同士の部屋があっても良いと思う。

決算を審査・可決しました

市長と一問一答 市長総括質疑

●社会福祉協議会と市の連携について

- Q** 市の社会福祉課長が社会福祉協議会の役員から外れているが、少子高齢化により福祉活動には、市の補助金及び市との連携は益々重要となる。市長の見解は。
- A** 社会福祉協議会は第三者機関を設け改革に取り組んでいる。市に依存せず民間団体として生まれ変わるために組織改革の要請があった。可能な限り市としてバックアップしていく。
- Q** 社会福祉協議会の業務が更に大変になることは明白であり不安がある。定款に関わる報告はあったのか。
- A** 会長から挨拶があった。決定権は社協の理事会にあり、団体としての意思決定を尊重する。



●空き家問題の担当課について

- Q** 空家等対策推進事業など迷惑空き家の対応に建築課は役割を十分に果たしているが、今後増加する中心部の空き家問題は更に深刻だ。ワンストップの部署で対策強化が必要ではないか。
- A** 建築課を主軸として関係課と連携している。空家等庁内検討委員会も機能しており支障はない。
- Q** 空き家対策は問題が多岐にわたる。空き家予防、人口減少など、一貫した強力な対応策を総合的に企画調整する部署が必要ではないか。
- A** 空家等庁内検討委員会が一番大事なところであり、関係課がしっかり連携している。いただいたご意見は庁内で議論する。



本会議での
認定へ

本会議での賛成・反対の討論は次のページへ

- 車野校は閑散とはしているが、他の利用者がなく子どもたちは伸び伸びとできる。様々な事情を抱えている方が利用しているので、現状を見守りたい。
- 情報共有スペースを設けることで、より利用が活発になるのではないか。



空き家対策

- 空き家問題は多方面に問題が絡むので、建築課のみで担当せず、移住定住や利活用など企画調整が可能なみらい創造課などに所管を移してはどうか。
- 土地、建物、税など様々な専門的知識のある部署を設けて対策することが急務。
- 連携してケアするだけでは十分な対策ではない。利活用を含めて、予防等対策に乗り出すことが必要になる。

観光対策

道の駅加治川の利活用について

- 地元の方がリピーターとなる取組が必要だ。
- 品揃えが少ない印象。商品構成の再考が必要だと感じる。
- 指定管理者のやりたいことをもう少し見守っても良いのではないか。
- 近隣には大天城公園があり、夏には蛍が飛び交う中でコンサートを開催している。大峰山桜公園もあり観光資源が多い。集客策を考え成果を出してもらいたい。



討論

令和5年度一般会計決算について、賛成・反対の意見を述べています。

賛成

令和会 湯浅 佐太郎

今得プレミアム商品券・エネルギー価格高騰対策・地域応援券・食材消費応援など多くの対策事業を発動した。財政指標も良くなって健全財政を維持している。大雪や地震、災害がなかったこと、職員の努力と知恵を出し合った結果の良い決算と評価する。まちづくり総合計画にそって強気でまい進することを祈念して討論とする。

賛成

共道しばた 三母 高志

令和5年度も新発田市の人口は減少している。今後は歳入への影響が心配される。対策としてふるさと納税の他に財源確保策を検討すべきだ。コミュニティ活性化のため地域おこし協力隊は積極的に導入すべきだ。また新発田市社会福祉協議会の収支にも注視し市民福祉や市民活動への影響が及ばないよう必要な支援が求められる。

賛成

ひらく会 小柳 はじめ

個人住民税0.8%増で約3%の物価上昇率に対して低く、市民生活は厳しくなっており注意が必要だ。有利な財源をフル活用し健全財政に努めているが、殖産など投資的的事业に対して臆病になっていることが残念。特別委託料問題は未来指向の子育て環境整備への新たな一歩として評価する。様々な懸念点はあるが決算は認定とする。

賛成

公明党 石山 洋子

コロナ禍からの反転攻勢をかけた令和5年度一般会計予算は超積極的予算として執行された。自主財源であるふるさと応援寄附金が前年度より増額、「ゼロカーボンシティの実現」に向けた新事業充当を評価。国の方針より前倒しで実施した子ども家庭センター運営事業が急速に進む少子化に歯止めがかかることに期待し賛成する。

反対

日本共産党
市議団 加藤 和雄

コロナ禍の後遺症や物価高騰で、市民や中・小規模事業者のくらしや営業は大変な状況だ。学校給食費は値上げでなく無償化を目指すべき。公共施設料金値上げは反対。

異常気象での米の減収への支援や、国の低所得世帯への物価高騰対策給付金の対象拡大や上乘せ支給など、困った人に寄り添い、必要なところに支援すべき。

賛成

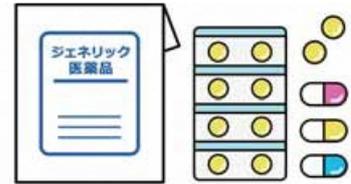
無所属 中村 こう

『健康長寿』でのフレイル予防策や『自殺対策』での拡充策、『少子化対策』での私立保育園の運営特別補助の整理がついたことに加え母子保健活動と出産後の新たな支援策『産業振興』での蔵春閣活用による産業支援やオーガニックSHIBATAプロジェクト事業『教育の充実』では教育支援センター車野校開校等、高く評価し賛成の討論とする。

7つの特別会計、2つの企業会計の決算を 審査、可決。主な議論は次のとおりです。

【国民健康保険事業】

- Q ジェネリック医薬品の財政効果額と利用率の状況は。
- A 令和5年度分は、約8,300万円の効果。市国保被保険者のジェネリック医薬品の利用率は86.8%で、まちづくり総合計画における令和9年度の目標86%をすでに達成している。



【介護保険事業】



- Q 令和5年度の介護事業所と訪問介護事業所の増減は。
- A 居宅介護事業所の廃止が5事業所、開始が1事業所、訪問介護事業所の廃止が2事業所、開始が1事業所である。

【食品工業団地造成事業】

令和5年度、分譲中の2区画のうち1区画を製菓会社に売却した。同社は、令和6年9月から新工場で稼働している。



このほかに、特別会計には、土地取得事業、後期高齢者医療、コミュニティバス事業、藤塚浜財産区があります。企業会計は、水道事業、下水道事業があります。

東小学校の6年生が本会議を傍聴しました

10月8日、東小学校6年生60人が、総合的な学習の一環として、新発田に誇りを持ち、新発田を愛する子どもたちを育てることを目的とし、議会の仕組みや役割について学習するため本会議を傍聴しました。

実際の本会議の臨場感を体験し、児童からは「僕たち市民のことを思って話し合っていることがよくわかりました」「議会は、とても緊張感のある場所だった」などの声が聞かれました。

これからの新発田市を担っていく子どもたちに議会を学んでもらう良い機会になったのではないのでしょうか。

新発田市議会では未来を担う児童生徒の皆さんの議会見学・傍聴を心よりお待ちしております。



今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 高齢者の見守りについて

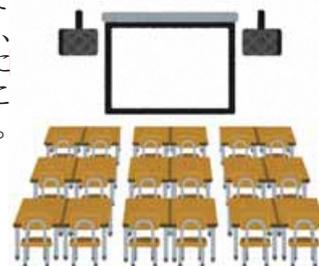
Q2 小・中学校の視聴覚環境の充実を！

● 板倉久徳 議員



- Q 高齢者緊急通報装置は固定電話がないと接続できないが、1人でも多くの命を守るために、固定電話がなくても使えるようにできないか。
- A 現在の固定電話を利用した通報装置の他に、携帯電話を使って利用できるサービスを追加するよう担当課に指示した。
- Q 音楽室のスピーカー等、壊れていることに気づかず使用していることもあると思う。学校訪問等で専門的にチェックできないか。

- A 壊れていないものをより質の良い物に買い替えることはできないが、今後、学校訪問の際に専門家と回ることも検討したい。



Q1 学校部活動の休日地域移行について

● 五十嵐良一 議員



- Q 市教育委員会は学校部活動の地域移行にどのように関わるのか。
- A 関係団体と休日地域クラブ指導団体認定基準を作成するなど連携して進める。
- Q 学校部活動の完全移行までに外部指導を受けるための移動中や活動中の怪我及び事故等が発生した場合の責任の所在、連絡体制について。
- A 休日の活動に関しては怪我及び事故等の連絡体制等は地域クラブで構築。

- Q 費用負担について、保護者への丁寧な説明及び負担軽減の措置はあるか。
- A R7年度まで国の補助制度がある。R8年度以降も保護者負担軽減となるよう国・県に財政支援を要望していく。





Q1 新発田の伝統文化継承について
Q2 城下町新発田まつりの賑わいを再び

● 長島 徹 議員



- Q 職人技に触れることができる『ふるさとしばた「食」と「職」のおまつり』の復活について。
- A 伝統文化や職人技に触れ、その魅力を広く発信する新たな事業が生まれていることから再開は考えていない。
- Q 広く市民に金魚台輪を継承・普及するには。
- A 各団体が連携し技術と文化の両面から金魚台輪の継承・普及につながると期待している。

- Q 来訪者がリピーターになるため観る祭りから体験・体感する祭りへと魅力ある祭りにするための考えは。
- A リピーター獲得の為に重要だと考える。皆様から新たな提案をいただきたい。



Q1 外国人材の受入れと多文化共生社会について
Q2 新発田産農畜産物のブランド力の向上は

● 渡邊 喜夫 議員



- Q 市民レベルの国際交流の現状は。
- A 自国料理を持ち寄る交流会を地域おこし協力隊を中心に七夕等に開催。
- Q 外国人住民のトラブル発生時の現状は。
- A ごみ分別不徹底や自治会参加に関する相談等。
- Q 外国人の児童生徒と教育現場の多文化共生の現状と課題は。
- A 国籍、文化の違いを認め尊重し合う教育環境を整備。

- Q ブランド化している園芸品目の生産量の現状と今後の推進策は。
- A 越後姫は新規就農増で成果有り。アスパラ、枝豆は減少。
- Q 飼料高騰等による新発田牛及びパイオニアポークのブランド肉生産量等の現状は。
- A 牛の販売額は増加、ポークは減少。



晩秋枝豆大峰かおり



Q1 子ども条例制定について
Q2 まんが図書コーナーと居場所作りについて

● 三母 高志 議員



- Q 条例に「子どもの権利条約」が掲げる、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利等を記述してはどうか。
- A 「子どもの権利条約」の4つの権利等は市民に広く知っていただくため分かりやすく条例を策定したい。
- Q 条例制定に当たっては「権利の侵害の救済」を記述してはどうか。

- A 「新発田市差別のない人権が尊重されるまちづくり条例」で権利救済の姿勢を示しており、包括的に救済措置が可能だ。
- Q ユウネスしばたなどに、まんが図書等を配置し居場所作りに活用できないか。
- A ユウネスしばたの利用者の声を参考に検討したい。





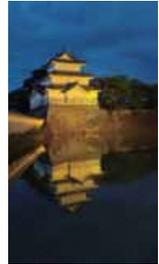
Q1 新発田城ライトアップ事業について
Q2 高齢者世帯等の緊急時対策について

● 広岡けんじろう 議員



- Q 年間を通じて、新発田城ライトアップを実施してはいかがか。
- A イベントなどに合わせて、期間を限定したライトアップ実施を考えたい。
- Q 四季で色分けした新発田城ライトアップを実施してはいかがか。
- A とても良い取組だと思う。
- Q 緊急通報装置の契約・利用の申請条件緩和について。

- A 緊急連絡先の協力員の人数制限を調査し、固定電話回線契約者のみなどの現状の申請条件を改善するよう指示した。
 - Q 筒状以外の緊急医療情報キット配布はいかがか。
 - A 市としては筒状の緊急医療情報キット配布を行う。
- ※他に「おくやみ総合窓口について」質問した。



Q1 笑顔あふれる対面給食について
Q2 新型コロナワクチン健康被害の情報公開は

● 惣山かすみ 議員



- Q 対面で食事をするによりコミュニケーション力を伸ばすことができるが、市内対面給食実施の学校は。
- A 加治川中学校のランチルームのみ。
- Q 対面給食の再開は。
- A 学校長の判断に委ねている。現在、机移動がなく給食時間確保になり残食が減った。教員は誤食等発見が容易。保護者要望はない。

- Q 全国の予防接種後健康被害救済制度申請数が11,645件。10月から定期接種が始まるが、接種を適切に判断するには、情報が必要では。
- A ホームページ等で周知する。市内認定件数5件、内死亡1件。審査中6件。副反応疑い報告は14件。



Q1 難聴児の通級指導教室と支援策について
Q2 吃音の早期発見と早期支援に向けて

● 高橋 芳子 議員



- Q 難聴通級指導教室に通っている人数と学年及び指導時間は。
- A 4月に二葉小に開設、1、2、5年に5名通級。月4～16時間。
- Q 学区外から通う保護者への交通費支給を。補聴器購入に助成を。
- A 要件により交通費支給あり。R5年度の購入助成利用は5件。
- Q 難聴の早期発見健診は。

- A 新生児聴覚検査が最も早期。ほか1歳6か月健診、3歳児健診。
- Q 吃音の発見や言葉の遅れの相談は年120件と多く、3歳児健診が重要とのこと。その後の支援策は。
- A 発達相談室や言語通級教室に繋げる。外ヶ輪小に22名、東豊小24名が利用。





Q1 映画館の誘致と新発田の魅力発信を
Q2 クマ対策の推進を

▶ 阿部 聡 議員



- Q 昨年9月の映画館設置の私の質問に前向きな答弁だった。進捗状況は。
- A イオンの社長に会って訴え、「共に考えましょう」と回答を得た。市職員とイオンとのタスクチームを設置した。
- Q 会津坂下町教育委員会は「堀部安兵衛の父母の墓が会津坂下町にある」と紹介している。どう思うか。
- A 町は改めると言ったと聞いた。直ってないのなら由々しき問題。調べる。

- Q クマ対策の推進のため、猟友会への手当増額や保険加入の促進支援が必要。どう思うか。
- A 報酬増額や猟友会員の保険に市として加入することも検討する必要がある。



Q1 新型感染症対策と予防接種後遺症の対応
Q2 交差点に矢印式信号機または時差式信号機を

▶ 中村 こう 議員



- Q 10月から開始する新型感染症接種計画は。
- A 新型感染症の予防接種は65歳以上の方などを対象としている。
- Q 申請者に寄り添った予防接種健康被害救済制度の対応を。
- A 今までも、まごころ対応を心がけてきた。これからも被害者に寄り添った対応に努めたい。
- Q 市役所前の中央町交差点と、国道7号の緑

- 町交差点、新栄町交差点の3か所に矢印信号を追加するか、時差式信号にすることで渋滞緩和がはかれると思うがどうか。
- A 信号機を管轄する新発田警察署に確認したところ、矢印式信号機等を導入する予定はないとのことである。



Q1 当市の魅力発信に向けた広報戦略の現状と展望

▶ 宮本 佳太 議員



- Q 佐渡世界遺産登録に便乗したインバウンド及び国内誘客施策は？
- A 現状は動線等課題も多く誘客実績は限定的。
- Q 国内誘客強化の為、より多様なジャンルのインフルエンサーを活用しては？
- A 現状の海外のインフルエンサー発信に留まらず、適切なSNS活用による誘客促進に努めたい。
- Q 当市は目玉政策のSNS発信も弱いですが、フォロワー増加の具体策や目標数値は？

- A 目標数値は設けないが、各課広報主任への研修等通じ発信強化徹底。ふるさと納税同様、民間委託も研究。
- Q 縦割りを排すべく、総合広報室を新設しては？
- A 現体制で広報機能強化徹底。





Q1 コロナ・インフルワクチンの無料化を
Q2 農村の人口減対策をすすめるべきだ

● 宮村 幸男 議員



- Q 新型コロナウイルスワクチンの定期接種が実施されるが負担はいくらか。
- A 県から統一単価がまだ示されないが、新潟市は4千円前後とのこと。
- Q 高齢者等が対象だがインフルエンザワクチンも無料にできないか。
- A コロナもインフルエンザワクチンも無料化の考えはない。
- Q 農村は、農林業策の不充分さで疲弊し人口

- 減になっている。米政策はじめ市も農業農村振興を充実させ人口減をくい止める時だ。
- A 農業が他の職業と収入面で遜色なく魅力ある農業農村振興を図りたい。中山間地域等直接支払制度等で、人口減や課題解決に取り組みたい。



Q1 地域おこし協力隊員拡充と今後の推進方針は
Q2 HPVワクチン接種等に関する更なる周知を

● 石山 洋子 議員



- Q 地域おこし協力隊の募集競争や人材確保マッチング等現状を見据えた今後の推進方針は。
- A 定住率向上等への効果を検証しコミュニティ型、ミッション型、新たに企業等雇用型の形態で増員を図る。
- Q 協力隊の募集から退任後も徹底してサポートする十日町市里山プロジェクトを参考にしては。

- A 採用から一貫した支援が必要。事例等も参考に様々な可能性の研究を進める指示をした。
- Q がん予防できるHPVワクチンは対象者の理解が大切。SNS等で9月末迄に周知強化を。
- A SNS活用に向け準備するよう指示した。やれることはなんでもやる。



Q1 職員採用と配置最適化・業務DX化を進めよ
Q2 若者層の首都圏流出は看過できないレベルだ

● 小柳 はじめ 議員



- Q 公務員といえども今後は採用難が確実に危機感を持つべきだ。
- A お陰様で採用倍率16.9倍と選ばれる街になっており心配ない。
- Q 定型業務中心の窓口は民間委託も検討すべきだ。
- A 今は考えてなく次の次の市長の時代のこと。
- Q 流出した若者の還流には同窓会補助制度が有効だ。
- A 費用対効果から実施しないが職員のSNS発

- 信は毎日が同窓会のようなもの。
- Q 旧本田小学校の利活用はアプリ、ゲーム開発を視野に入れるべきだ。
- A 高機能キノコ栽培を計画しているが他業種も対象だ。
- Q 若い女性層流出は古い性別意識も大きな要因だ。
- A 進学や職業の問題が中心との認識だ。



天王小シェアオフィス



Q1 会計年度任用(非正規)職員の処遇改善を

▶ 加藤 和雄 議員



- Q 国は任用職員の給与改定は常勤職員に準ずる改定を基本としている。R6年の給与改定は4月遡及をすべき。
- A 可能な限りの財源確保に努め、遡及適用の有無を決定していく。
- Q 臨時職員はフルタイム任用職員とすべき。
- A 業務量の時間数や職務内容、職責の違いの明確化などから臨時をパート任用とした経緯だ。最適な勤務時間となるよう検証を続ける。

- Q 職員の47.1%が任用職員。内、女性が81.6%、年収200万円未満が74.8%だ。現状の評価と対応は。

- A 任用職員の人数、勤務時間等に、より適正化に取り組まなければと考える。



議長がキルギス共和国を訪問し、労働人材受入れ協議に参加しました

キルギス共和国との縁は、終戦後タムガ村に抑留された125名の日本人の一人で川東にお住まいだった故宮野泰氏がその勤勉な働きを現地の方に感心されたことを発端に交流が続いている。

同国を訪問し、労働人材を送り出し技能習得に積極的なキルギス側と人手不足解消を目指す市側で人材交流・観光交流について協議が行われた。

市議会は、交流をどう進めていくのかを見極め、チェックをすることが責務。その上で雇用対策や育成就労の環境整備など後押しを考えたい思いで新発田市訪問団の一員として参加した。勤勉で若い国(人口の50%以上が25歳以下)で、日本人と顔がよく似ている。キルギスの伝説によると、日本人とキルギス人は元兄弟で、魚好きは日本へ、肉好きはキルギスに行ったとか。訪問したアラバエフ国立大学では、日本での就労を希望する学生が大勢日本語を学んでいた。

同行した産業界の方々も受入れに前向きであり、公としての支援をどのように進めていくのか注視していきたい。



傍聴者の声 本会議の傍聴者からいただいたご感想を紹介します

本会議を傍聴しました。今回で2回目の傍聴です。ネット中継を見たり、ホームページで公開されている議事録を読むこともありますが、実際に自分の目で見て耳で聞くと迫力が違うことを再認識しました。質問するときの議員さんの緊張感や答弁の際の市長さんの説得力溢れる話し方は、会場でしか感じられないと思います。また機会があれば傍聴したいです。



みなさんも傍聴にお越しください!

研修・視察の報告



柏崎市議会行政視察に対応しました

7月30日、柏崎市議会の議会広報広聴常任委員会が本市議会のホームページでの情報発信と議会報告会について行政視察のため来訪されました。



筑西市議会行政視察に対応しました

10月11日、茨城県筑西市議会の議会運営委員会が、議員定数の在り方について、本市議会の議員定数及び議員報酬に関する特別委員会での検討など行政視察のため来訪されました。



社会文教常任委員会

文化芸術に関する取組について

8月21日 北海道札幌市



だて歴史文化ミュージアムについて

8月22日 北海道伊達市



高齢者福祉の取組について

8月23日 北海道小樽市



共道しばた

石巻子どもセンター「らいつ」の取組について
石巻市防災センターについて

7月24日 宮城県石巻市



オガールプロジェクトについて【岩手県紫波町】

あじさい型スマートコミュニティ構想モデル事業について【岩手県北上市】

7月25日

オープンフィールドミュージアム事業について

7月26日 岩手県釜石市

新発田まつり
民踊流しに
参加しました



議会報告会を開催します！

議会報告会では、令和5年度新発田市一般会計決算関係を中心に9月定例会で審議された内容を報告するほか、意見交換も行います。

『議員定数及び議員報酬に関する特別委員会』での議員報酬や議員定数の検討にあたり、市民の皆様からのご意見をお聞きします。

※事前の申込みは必要ありません。

※どの会場にご来場されても構いません。



開催日	時間	会場		各班の説明議員
11月23日 (土・祝)	午前10時～	七葉コミュニティセンター	1班	1班 中村こう、小川 徹、若月 学、 五十嵐良一、広岡けんじろう、 高橋芳子、小坂博司、渡邊喜夫
	午後1時30分～	川東コミュニティセンター		
11月24日 (日)	午前10時～	豊浦地区公民館	2班	2班 宮村幸男、比企広正、板垣 功、 板倉久徳、小柳はじめ、宮本佳太、 三母高志、石山洋子
	午後1時30分～	五十公野コミュニティセンター		
11月30日 (土)	午前10時～	市役所本庁舎 1階 札の辻ラウンジ	3班	3班 加藤和雄、宮崎光夫、湯浅佐太郎、 宮野清隆、高橋 茂、惣山かすみ、 長島 徹、阿部 聡
	午後1時30分～			

今回の本庁舎開催は、4階委員会室から飛び出して、オープンスペースで行います。



Web議会報告会は 12月3日(火) 19時配信！

※当日「YouTubeLive」のチャット機能でいただいた質問にリアルタイムでお答えする予定です。

※すべてのご意見・ご質問にお答えできるとは限りませんのでご了承ください。

【参加方法】

新発田市議会のYouTubeチャンネルでライブ配信します。右の二次元コードを読み取ってご覧ください。

ぜひ、チャンネル登録もお願いします。

※ライブ配信は、配信ページにアクセスしていただければどなたでもご覧いただけますが、チャットへの参加にはYouTubeへのログインが必要になります。



二次元コードを読み取ると上の画面になります



議員定数及び議員報酬に関するアンケート ご協力をお願いします

新発田市議会では、市民の皆様にご信頼される、より開かれた議会をめざし、議員一丸となり様々な改革に取り組んでいます。

その一環として、令和5年11月に議員12名からなる「議員定数及び議員報酬に関する特別委員会」を設置しました。

議論にあたっては、社会情勢や経済情勢、他市の状況など、様々な論点から議論を重ねています。また、市民の声を参考にしながら望ましい議員定数及び議員報酬の検討を重ねていきたいと考えております。

アンケート調査にご協力をお願いいたします。

みなさんの声、
お聞かせください



WEBアンケート
はこちらから



アンケート実施概要

■回答方法

以下のいずれかの方法で回答ができます。

- ①次ページの「はがき」を郵送(切手不要)又は「回収箱※1」に投函
- ②右の「QRコード」読み取りによる「WEBアンケート」
- ③主な公共施設等にあるアンケートチラシを「回収箱※1」に投函(※2)

※1 回収箱は、市役所本庁舎、各支所、イクネスしばた、生涯学習センター、各地区公民館に設置しています。

※2 アンケートはファックスでも承ります。ファックス番号は、0254-26-2985(新発田市議会事務局)です。

■実施期間 令和6年11月15日(金)～令和6年12月27日(金)

■その他

- ①アンケートの対象は、15歳以上の新発田市民の方としています。
- ②アンケートの回答には、個人情報(住所、氏名等)の記名は不要です。
- ③アンケートの結果は、まとめ次第、議会だより等で報告する予定です。

今までの議論状況

令和5年11月に特別委員会を設置し、現在(11月1日現在)まで15回の会議を開催し議論しています。

議論の内容は、若者や女性等の進出や議員の活動実態、他市との比較を含め様々な視点から論点を整理しながら議論を重ねています。

アンケート結果を踏まえながら、更に検討を進めてまいります。

議論の主な論点

若者や女性等の議会への進出

議会の活動実態

経済情勢

他市との比較

地域の状況

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

アンケートをご回答いただく際の参考に新発田市議会について簡単にお知らせします。

市議会議員とは



市議会議員は市民の皆様から選挙で選ばれた「市民の代表」です。25名(議員定数)の議員で構成しており、任期は令和5年5月1日から令和9年4月30日までの4年間です。

市民の代表として様々な仕事をしています。

●議決

議会の最も基本的な役割です。条例を制定・改正・廃止したりするほか、予算の決定や決算の認定などを行います。

●請願・陳情の受理

市民から提出された要望を請願・陳情として受け取って審査します。

●意見書の提出

新発田をもっと住みよく・暮らしやすいまちにするために必要なことを、国などに要望するため、議会の考え方をまとめて、意見書として提出します。

●市の仕事のチェック

正しく予算が執行されているなど市役所の仕事をチェックします。



市議会の仕事とは

ま
ち
づ
く
り
の
よ
り
よ
い
実
現



現在の定数と報酬は



- 議員定数 **25名**
- 議員報酬 月額**396,000円**



他市の状況は

●新潟県内の主な市

市名	条例定数	報酬(月額)
新潟市	50人	659,000円
長岡市	34人	526,000円
上越市	32人	442,100円
三条市	22人	385,000円
柏崎市	22人	401,000円
燕市	20人	372,500円

新発田市議会の議員定数及び議員報酬に関するアンケート

質問1～4は該当する□に✓印、質問5は数値を記入してください。

質問1 あなたの年齢をお聞かせください。

- 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代
 60歳代 70歳代 80歳代 90歳以上

質問2 現在の議員定数は25名です。この定数についてどう思いますか。

- 多い 適当 少ない 分からない

質問3 現在の議員報酬は月額396,000円です。この報酬についてどう思いますか。

- 多い 適当 少ない 分からない

質問4 現在の議員報酬(月額396,000円)で、あなたは議員を目指そうと思いませんか。

- 思う 思わない 分からない

質問5 質問4で【思わない】と選ばれた方にお聞きします。どれくらいの報酬なら議員を目指そうと思いませんか。

〔月額：

百万	十万	万	千	百	十	-

 円〕

アンケートへのご協力ありがとうございました。

議会からのお知らせ

12月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
12/8	9	10	11	12	13	14
		議会運営委員会		本会議 (提案理由説明)		
15	16	17	18	19	20	21
	本会議 (一般質問)		本会議 (一般質問)	常任委員会 (総務)	常任委員会 (社会文教)	
			議会運営委員会			
22	23	24	25	26	27	28
	常任委員会 (経済建設)	議会運営委員会		本会議 (議案等採決)		

※請願・陳情の提出期限は12月4日です。
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

市議会ホームページで生中継します。
 下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

ラジオは生放送から 録音放送に変わりました

① FM放送

エフエムしばた(76.9MHz)による放送は、令和6年度から本会議一般質問及び代表質問のみを録音放送します。(放送日程はエフエムしばたのホームページなどでご確認ください)



② インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページバナーから聴くことができます。(放送日程は①FM放送と同じ)



編集後記

季節は一雨ごとに短かった秋から冬へと移り変わろうとしています。今年の夏から秋に起きた令和の米騒動、米の販売価格にただただ驚いています。さて、今回のヨミネスしばた153号は新発田商業高校の生徒さんの協力をいただいて特集「議会はどんなトコロ?」を作成いたしました。若い方から見て議会がどのように映ったのか気になる所ではありますが、これからも開かれた議会を目指していかなければと改めて思うところです。終わりに、一人でも多くの市民の方に「議員定数及び議員報酬」のアンケート調査にご協力いただき、皆様の議会に対する考えをお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

(文責 長島 徹)

【広報広聴委員会】

委員長／石山洋子

委員／板倉久徳・湯浅佐太郎・広岡けんじろう・高橋芳子・長島徹

令和6年11月15日発行

◎発行・編集／新発田市議会 広報広聴委員会

〒957-8686 新発田市中央町3丁目3-3 新発田市議会事務局

◎TEL 0254-28-9400 URL : <https://www.shibata-shigikai.jp/>

切り取り線

郵便はがき

9 5 7 8 7 9 0

料金受取人払郵便



差出有効期間
2025年1月20日
まで

切手不要

新潟県新発田市中央町3丁目3番3号
私書箱新発田第1号

新発田市役所
新発田市議会事務局 行

切り取り線

■議員定数及び議員報酬について、また、市議会へのご要望・ご意見をご記入ください。

